

目賀田大使のオアハカ州出張（震災チャリティー・オークションへの出席、クエ・オアハカ州知事との会談他）

7月30日から8月1日の3日間、目賀田大使は、震災チャリティー・オークションへの出席、クエ・オアハカ州知事との会談、同州知事の招待によるゲラゲツァ祭への出席、及び在留邦人との交流等のため、オアハカ州オアハカ市に出張しました。

震災チャリティー・オークション（7月30日）

30日夜、オアハカ州オアハカ・デ・フアレス市（州都）において、同州在住の日本人画家・竹田鎮三郎画伯のイニシアティブにより震災チャリティー・オークションが開催され、目賀田大使が出席しました。

今回のオークションには、多くのオアハカ在住のメキシコ人アーティストから作品の提供がありました。会場となった画廊には50人以上の来場者があり、また33作品が買い取られました。





その後8月10日、竹田画伯及び画廊オーナーでオークションの発起人であるアルヌルフォ・メンドサ画伯が目賀田大使を訪問し、今般のオークションの収益金10万ペソ（約70万円）を手交しました。同収益金は、東日本大震災の義捐金として、当館から日本赤十字社を通じて被災者の方々に送られる予定です。



クエ・オアハカ州知事との会談（7月31日（日））

31日、目賀田大使は、クエ・オアハカ州知事と会談を行いました。会談において、目賀田大使より30日の震災チャリティー・オークションに多くのオ

アハカ在住アーティストの協力を得たことに感謝申し上げたところ、クエ州知事より、日本の皆様にお悔やみを申し上げる、連帯の意を表したいとの言葉をいただきました。また、日本とオアハカ州との経済・貿易関係の促進、「一村一品運動」を通じた地域開発への協力等につき意見交換を行いました。



この他、30日にオアハカ州のモンテ・アルバン遺跡に日本政府より供与された考古学活動用機材（平成13年度文化遺産無償資金協力における供与）の視察、31日にオアハカ州在留邦人の方々との懇談を行いました。

（了）